

スキンケアの目的が健康から美容へと変わった背景

19 世紀初頭、スキンケアの目的が健康から美容へと変わった背景には、社会的な影響が大きく関わっています。以下はその主要な要因です。

1. 産業革命と経済発展

産業革命により大量生産が可能となり、多様なスキンケア製品が市場に出回るようになりました。経済の発展とともに、消費者の購買力が高まり、美容に対する関心も増しました。

2. ライフスタイルの変化

都市化や働き方の変化に伴い、ストレスや環境汚染などの外的要因が肌に影響を与えるようになりましたが、スキンケアの目的が肌の健康維持より、美容のためのケアにシフトしました。

3. メディアと広告

20 世紀初頭から、広告や映画、ファッション雑誌などのメディアが美容の重要性を強調するようになりました。美しい肌は魅力的であるとするイメージが広まり、スキンケアが美容目的にシフトしました。

4. 社会的な価値観の変化

特に 20 世紀後半から、外見や美しさに対する社会的な価値観が大きく変わり、健康より美容が重要視されるようになりました。これは、個人の自己表現や自尊心にも関係しています。

科学技術の進歩にこれらの要因が組み合わさることで、スキンケアの目的が肌の健康維持より、美容のためのケアにシフトしました。